

令和7年度第2回 食育推進評価専門委員会 ヒアリング説明資料

2025年 9月11日

食育推進評価専門委員会委員

日本チェーンストア協会食品委員会委員長・副会長

竹野 浩樹

(サミット株式会社取締役会長)

第5次基本計画作成にあたっての基本的な考え方

第4次食育推進基本計画では、「生涯を通じた心身の健康を支える食育」、「持続可能な食を支える食育」、「デジタル化に対応した食育」が重点事項として掲げられ、多様な主体が連携・協働する国民運動として各所でさまざまな取り組みが進められてきました。

第5次計画の策定にあたっても、こうした基本方針を引き継ぎつつ、少子化・人口減少、超高齢社会の進展、また国内農業生産の強化・拡大などを目的とした改正食料・農業・農村基本法の施行など、わが国を取り巻く社会・経済・環境の急速な変化を的確に捉えたうえで、より実効性のある施策の重点化が求められると考えます。

私どもスーパーマーケット業界は、お客様と日々接する現場において、栄養バランスの乱れや食への関心の低下など、さまざまな課題を実感しています。

こうした現場の実感を踏まえ、「国民の健康を支え、子どもの健やかな成長や持続的な国内農業の確保などに貢献する」との観点から、以下の3点について意見を申し述べます。

- 1. 健康寿命の延伸及び欠食の防止・共食の推進**
- 2. デジタルコミュニケーションの活用による食品関連事業者の活動支援**
- 3. 現場体験を通じた食育の推進と農業生産基盤の確保**

具体的な意見；

1. 健康寿命の延伸及び欠食の防止・共食の推進

少子高齢化が進行するわが国において健康寿命の延伸は不可欠であり、年齢やライフスタイルに応じた食事バランスや栄養成分の活用を促進し、健康や栄養に関する正しい知識の普及を強化する必要があります。また、子どもの欠食防止についても、朝食の習慣化を促す情報発信や学校・地域と連携した共食の機会の創出などを通じて、健やかな成長を支援する施策も必要です。

食品関連事業者として、科学的なデータに基づきつつ消費者行動の変化を支援するような、食事バランスガイドや栄養成分表示の利活用を軸とした具体的・実践的な取り組みを行う必要があります。

【具体的な取り組み検討例】

① 食事バランスガイドの見直し

最新の食における嗜好や人気メニューなどを踏まえた内容の見直し、 食事バランスガイドに基づく家庭で簡単に実践できるレシピの提案 など

② 栄養成分表示の利活用と食育の目標との連動の促進

栄養成分表示に関する学校や地域講座での教育、 ツール提供などを通じた表示の読み方の理解促進、 1日の食事摂取基準との比較方法などの簡易なリーフレットの作成・配布やアプリでの情報連携の検討 など

③ 欠食防止・共食推進の施策

朝食の必須化や欠食・偏食防止に直結する指標の追加検討、 多世代向けの朝食促進・共食イベントの検討、 地域の子ども食堂や高齢者宅配と連携した共食機会の創出 など

2. デジタルコミュニケーションの活用による食品関連事業者の活動支援

共働き世帯の増加や生活スタイルが多様化する中で、デジタル技術を活用した情報発信は、食育にとっても重要な手段です。SNSやアプリを通じたレシピや食生活の提案、健康管理アプリとの連携など、消費者に寄り添ったアプローチの再検討も求められます。また、スーパーマーケットの店舗は、日常的にお客様と接点を持つ地域の生活インフラであり、デジタルサイネージによる食育コンテンツの発信や栄養情報などの「見える化」を推進し、買い物場を学びの場にも変えていく取り組みの場として有効と考えます。

家庭の中心的な担い手である大人・保護者世代世代への働きかけは子どもの食育にもつながり、食育の実践・情報発信の重要な拠点としての施策や支援策の拡充が期待されます。

【具体的な取り組み検討例】

①「官民連携食育プラットフォーム」との戦略的連携

2025年7月に設立された「官民連携食育プラットフォーム」へのスーパーマーケットなどの食品関連事業者の参加促進、同プラットフォームにおける共通化・標準化されたツール・啓発素材による統一的な店舗展開施策の促進 など

②サイネージやアプリなどによる“気づき”の創出、動画を活用した周知活動

- ・店舗のデジタルサイネージでの「食育」や「健康メニュー」などのショート動画やイメージポップの表示
- ・「栄養バランスチェック」、「購入履歴に基づくレシピ情報提供」などのポイントカードアプリを活用した機能の検討
- ・Instagram、YouTubeショート動画などでの「1分で学べる食育動画」などの配信検討など

3. 現場体験を通じた食育の推進と農業生産基盤の確保

子どもたちが家庭や学校を離れて、スーパーマーケットの店舗見学や地場産品の販売イベント、親子での料理体験教室などに参加し、五感を使って対面で学ぶことは、多様な食文化・地場産業・環境配慮などへの関心や理解を深める良い機会となります。こうした体験を、特に親や地域住民と共有することは、世代間の知識の伝達や地域コミュニティの再構築にもつながるとともに、農業への理解促進にもなる重要な機会です。

特に、農業体験は、農業への理解と農産物の消費拡大にもつながり、農業生産基盤の強化にも寄与します。こうした体験型食育を官民連携で進めることが、地産地消の推進にもつながり、持続可能な食の確保と地域経済の活性化にも直結するものと考えます。

【具体的な取り組み検討例】

①「農業体験×食文化ツアー」の展開拡充

「地元農産物の収穫体験＋旬の食材を使った郷土料理づくり」などの地方自治体とスーパーマーケットが連携した食育ツーリズムの展開 など

②スーパーマーケット店舗の「食育・健康コーナー」の充実

スーパーマーケット各店舗の事情に応じた「健康と食生活を見直すコーナー」や「管理栄養士が個別健康アドバイスを行うコーナー」などの設置推進 など

弊社サミット株式会社での取り組み事例

● 丹波山村「サミットファーム」で自然の恵みを学ぶ！

2006年に「サミットの森」森林整備活動を開始して以来、毎年、山梨県丹波山村の整備活動に参加し、交流を深めてきました。2015年からは、高齢化により耕作放棄地の増加が問題となっている山梨県丹波山村の土地を活用して、「サミットファーム」を開始。地元の方々の協力を得ながら、社員研修や社員とその家族のボランティアで開墾を実施。2017年からはお客様向けの収穫体験バスツアーも開始。



弊社サミット株式会社での取り組み事例

● 健康コミュニティコーナー「けんコミ」などによる未病対策の推進

一部店舗にサンフラワープロジェクトが提供する「健康コミュニティコーナー」を導入。無料の健康測定器を利用した測定結果に基づいて、ドラッグストア「トモズ」の管理栄養士に食事や健康について相談。必要な食材の買い物はサミットの案内係がサポート。

※サンフラワープロジェクト

国分グループ本社、大木ヘルスケアホールディングス、東邦ホールディングスによるプロジェクト。
医療、食品、健康、介護、美容、快適な生活などの観点で取り組む新たなビジネスモデル。



新店や改装した一部の店舗では「アレルギーフリー」商品を集めたコーナーを展開。商品ごとに専用のアレルギー表示POPを付け、商品を選びやすく工夫。

弊社サミット株式会社での取り組み事例

●「ルンルン！仲良く夏休みツアー」開催！

1983年にスタートした、小学生と保護者の方々をお取引先様の工場等の見学とレジャー地にご招待する恒例の人気ツアー。例年、約20コースに900名以上が参加。コロナ禍の下でのオンラインツアーを経て、2023年からは通常通りの実地コースで開催。



●店内クイズラリーで学び！

普段のお買い物時に、店内でのクイズラリーで子どもたちが楽しく学べる企画を実施。さまざまな“はじめて”を体験。

●学校、商店街、自治体との連携による店舗見学と職場体験の実施



例年250校以上から申し込みがあり、延べ2万人を超える児童・生徒の皆さんが店舗を訪問。コロナ禍の3年間は、店長が見学ツアーを案内するオリジナル動画を制作して学校に提供、2023年5月以降は、大人数での店舗見学も再開。

第41回 **ルンルン！仲良く夏休みツアー**

自由研究にも！工場・産地見学+レジャーなど

20コース 合計324組様ご招待!!

小学生限定！お子様(2名様まで)と参加しませんか？ **ほとんどのバスで行く バスツアー 各16組様**

出発 8:00 厳治橋駐車場 ▶ 解散 18:00 京東駅周辺

7月22日(火) 開催		7月23日(水) 開催	
① 紀文食品コース + 成田ゆめ牧場 (会場) 東京工場 (千葉県印旛郡)	⑩ 千葉県勝浦漁港コース + 鴨川シーワールド (会場) 千葉県勝浦漁港 (千葉県勝浦市)	② 鈴鹿かまぼこコース + 神奈川県立生命の星地球博物館 (会場) かまぼこ博物館 (神奈川県小田原市)	⑪ 伊藤ハムコース + チームラボプラネッツTOKYO (会場) 伊藤ハム米久プラント柏工場 (千葉県柏市)
③ 米久コース + マクセルアクアパーク品川 (会場) 障工場 (埼玉県春日部市)	⑫ プリマハムコース + スモールワールズTOKYO (会場) 茨城工場 (茨城県土浦市)	④ コカ・コーラコース + よみうりランド (会場) 多摩工場 (東京都東久留米市)	⑬ ロッテコース + マクセルアクアパーク品川 (会場) ロッテ浦和工場 (埼玉県さいたま市)
⑤ マルちゃんコース + スモールワールズTOKYO (会場) 関東工場 (群馬県館林市)	⑭ アサヒ飲料コース + スモールワールズTOKYO (会場) 「カルピス」みらいのミュージアム (群馬県館林市)	⑥ フジッココース + チームラボプラネッツTOKYO (会場) 関東工場 (埼玉県加須市)	⑮ 味の素コース + 横浜・八景島シーパラダイス (会場) 川崎工場 (神奈川県川崎市)
⑦ 明治(ヨーグルト)コース + チームラボプラネッツTOKYO (会場) なるほどファクトリー守谷 (茨城県守谷市)	⑯ 赤城乳業コース + 野生の王国群馬サファリパーク (会場) 本庄千本さくら「55」工場 (埼玉県本庄市)	⑧ 雪印メグミルクコース + マクセルアクアパーク品川 (会場) 野田工場 (千葉県野田市)	⑰ ニチレイフーズコース + マクセルアクアパーク品川 (会場) 船橋工場 (千葉県船橋市)
⑨ エフビココース + スモールワールズTOKYO (会場) 関東リサイクル工場 (茨城県結城郡)	⑱ 協同乳業コース + よみうりランド (会場) 東京工場 (東京都西多摩郡)	⑰ 森永乳業コース + チームラボプラネッツTOKYO (会場) 利根工場 (茨城県常総市)	

20 7月23日(水) 開催

20組様 ※お子様は2名様まで可 ※お子様は小学生限定

14:00 ▶ 16:00頃

オリジナルボールを作って、
選手達とミニゲームで遊ぼう！
スフィード世田谷FCコース

(会場) ヤスフットサルスタジアム世田谷
(東京都世田谷区上用賀2-4-18 コリアヌ馬車公園アクセス棟1F)

※バス乗降場所や会場までの交通費はお客様負担となります。※荒天などやむを得ない事情により、中止となる場合がございます。予めご了承ください。

5/24日~6/8日

6/17日 6/24日

※バス乗降場所や会場までの交通費はお客様負担となります。※荒天などやむを得ない事情により、中止となる場合がございます。予めご了承ください。

※当選された方のみ、メールでご連絡させていただきます。
※キャンセル等による振り上げ返金の方は、6月下旬~7月上旬までご連絡させていただく場合がございます。
※抽選内容に関するお問い合わせ等にはお答えできませんのでご了承ください。

サミットは「GO GREEN」に繋がる活動として取り組んでいる、「食と健康」を軸とした健康長寿社会への貢献、地球にやさしい調達・利用の推進をお客様に楽しく体験いただくために、「ルンルン！仲良く夏休みツアー」を実施します。



【参考②】 日本チェーンストア協会の概要

「チェーンストア」とは、同一の資本の下で、11店舗以上の店舗を直接に管理・運営する小売業・飲食業等の経営形態。大規模な小売企業等のほとんどはチェーンストアの形態で経営。

日本チェーンストア協会は、国内の食品スーパー、総合スーパー、ホームセンター、100円ショップ等、多店舗で展開する小売企業で組織。

● 設立

1967年8月2日

● 趣旨

チェーンストアの健全な発展と普及を図ることにより、小売業の経営の改善を通じて、わが国流通機構の合理化、近代化を促進するとともに、国民生活の向上に寄与する。

● 会員企業

《通常会員》

- ・チェーンストアを営む小売業法人であって、11店舗以上または年商10億円以上の事業会社。
- ・チェーンストア事業を営む小売業法人を直接の子会社に持つ持株会社。

《賛助会員》

協会の趣旨に賛同し、これに協力する法人。

賛助会員の中から、常任理事会の推薦等を得て特別賛助会員とすることができる。

● 会員の状況（2025年7月現在）

《通常会員》 46社 《特別賛助会員》 20社 《賛助会員》 365社

● 会員の規模（2024年度）

総売上高 132,727億円（食料品91,867億円 / 衣料品7,432億円 / 住関連品24,980億円 / サービス287億円 / その他8,158億円）

店舗数 10,622店

従業員数 514,776人（正社員114,602人 / パート400,174人）